

令和4年1月25日

南国市国民健康保険運営協議会会長 様

南国市長 平山 耕三



令和4年度南国市国民健康保険税の税率改定について(諮問)

国民健康保険は、国民皆保険制度の基盤をなすものとして重要な役割を担っておりますが、高齢者や低所得者の加入割合が高く、その財政状況は非常に厳しいものとなっております。

本市の国民健康保険事業につきましても、被保険者数の減少や近年の経済状況から国保税収は落ち込む一方、高齢化の加速や医療の高度化により一人当たりの医療費は増加傾向で被保険者数の減少に比して医療費全体の支出額は減っておりません。

ここ数年は財政調整基金により歳入不足を補てんしてまいりましたが、今後もこの状況が続けば、やがて基金は底をつくこととなり、高知県への納付金が増額された場合などの被保険者の急激な負担増の緩和に対応できなくなります。また、数年先には、高知県が中心となって進めている県下保険料(税)率統一の実現が具体化されますので、今後は県から提示される統一保険料(税)率をもとに財政運営を行っていくこととなります。

つきましては、できる限り基金を減少させることなく、将来への備えとして保持し、今後の国民健康保険事業の円滑な運営を図るため、令和4年度の国民健康保険税の税率改定について諮問いたしますので、ご審議のうえ、ご答申くださいますようお願いいたします。